



人を想い、  
地球を想う

# 第104期 中間報告書

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで



三ツ星ベルト株式会社

# 原材料高でも、高水準の利益体質を維持。 創業100周年に向け、全社一丸となり、着実に成長を続けています。

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第104期第2四半期連結累計期間の概況をお届けするにあたりまして、株主のみなさまのご懇情に心から厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、第1四半期に続き、為替相場は円安基調で推移し、企業収益の改善や設備投資の増加を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。海外経済においては、米国では好調な企業収益、雇用情勢の改善など堅調に推移し、アジアにおいても総じて安定した状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループは販売活動並びに生産体制の強化を図るとともに、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高367億64百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益47億27百万円（前年同期比0.2%減）、経常利益52億56百万円（前年同期比0.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億32百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

中間配当につきましては、1株につき12円、支払開始日を平成30年12月4日と決定させていただきました。

今後の企業を取り巻く環境は、国内経済は、引き続き、緩やかな回復基調が予想されるものの、原油価格の高止まりによる原材料価格の高騰、さらに米国・中国を中心とし

た貿易摩擦による下振れリスクなど世界情勢の不透明感は続くものと考えられます。

このような状況のもとで、当社グループといたしましては、三ツ星ベルトグループ全体で一段と経営の効率化とコスト削減に取り組むとともに、柔軟な生産体制の確立と販売体制の強化並びに強固な財務体質づくりを推進いたします。また、次世代の産業分野のニーズに対応できる「高機能、高精密、高品質な製品づくり」を目指すため、引き続き研究開発体制の強化・充実を図り、業績の確保に努めてまいります。

株主のみなさまには、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成30年12月



代表取締役会長

西河 紀男



代表取締役社長

垣内 一

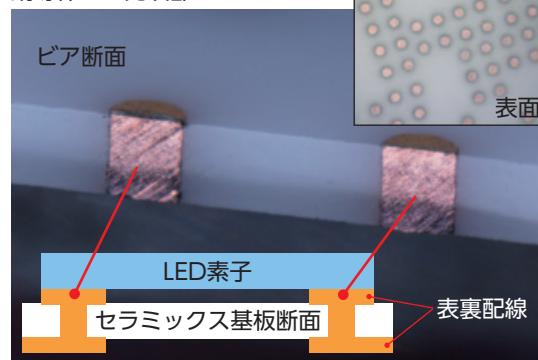
## 高機能・高精密・高品質な製品を通して 社会に貢献する三ツ星ベルトの“研究開発製品”

三ツ星ベルトの高導電無収縮充填工法による銅導体ビア充填基板は、表裏の配線を銅ビア（穴）により導通するセラミックス基板です。

高信頼性や放熱が要求される各種パッケージ基板、モジュール基板などで、厳しい信頼性試験をクリアし、人工衛星からスマートフォンまで、幅広く使用されています。



銅導体ビア充填部



### 特徴

- ・ポイドや隙間の少ない均一な充填を実現。
- ・充填部表面の凹凸が少なく、小型化、高密度配線が可能。
- ・充填部の高い熱伝導性。
- ・使用材料は鉛などの環境負荷物質非含有。

## 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高367億64百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益47億27百万円(前年同期比0.2%減)、経常利益52億56百万円(前年同期比0.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億32百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

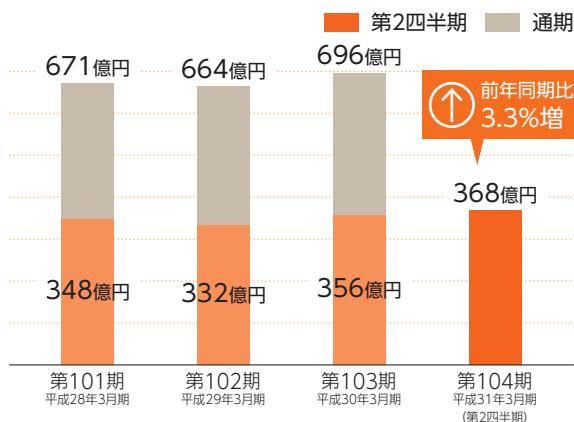
当第2四半期連結会計期間末は、現金及び預金の増加等

により流動資産が26億85百万円、固定資産が8億34百万円とそれぞれ増加したことから、総資産は前連結会計年度末比35億18百万円増加の993億20百万円となりました。

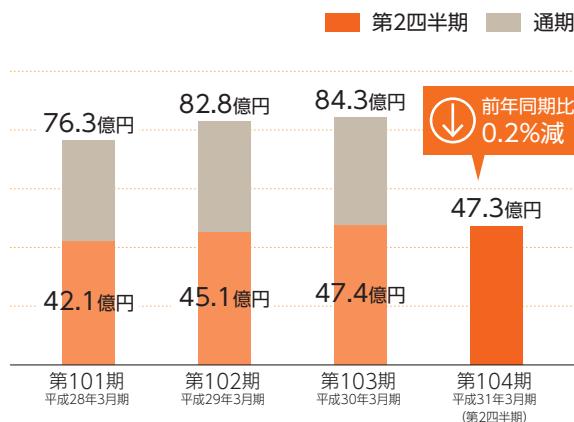
負債は、借入金の減少等により、前連結会計年度末比1億68百万円減少の272億85百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によ

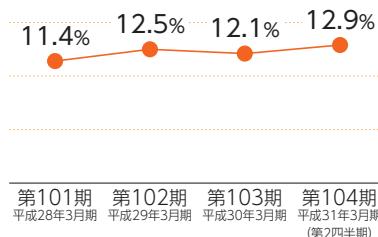
### 売上高



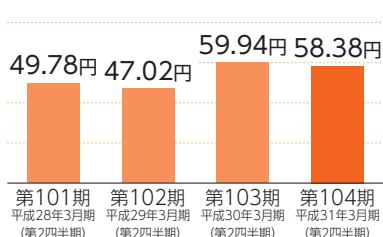
### 営業利益



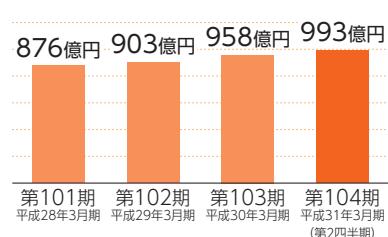
### 営業利益率



### 1株当たり四半期純利益



### 総資産



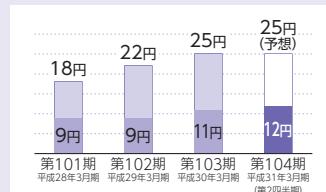
※当社は平成30年10月1日付で、普通株式について2株につき1株の割合で株式併合を行っておりますが、当中間報告書においては、当該株式併合前の株数にて1株当たり四半期純利益を算出しております。

り利益剰余金が26億86百万円、その他の包括利益累計額が10億4百万円とそれぞれ増加した結果、前連結会計年度末比36億87百万円増加の720億35百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の71.3%から72.5%に上昇しました。

配当の状況

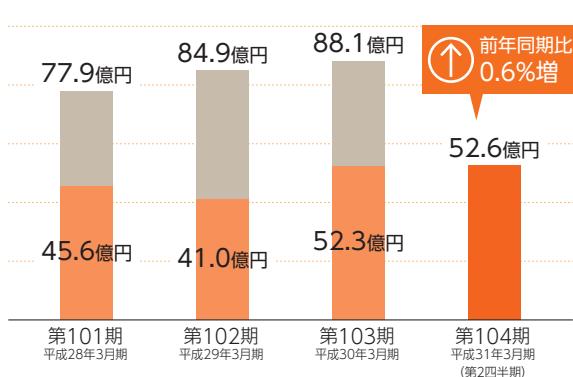
中間配当金 **12円**  
 〈 期末配当金 13円(予想) 〉  
 〈 年間配当金 25円(予想) 〉



※当社は平成30年10月1日付で、普通株式について2株につき1株の割合で株式併合を行っておりますが、当中間報告書においては、当該株式併合前の配当金の額を記載しております。株式併合を考慮しますと、平成31年3月期期末配当金(予想)は、26円となります。

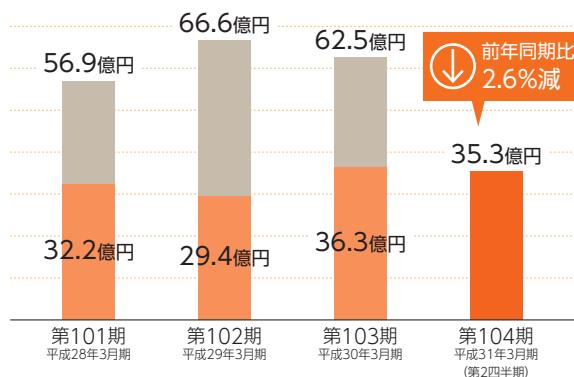
▶ 経常利益

■ 第2四半期 ■ 通期

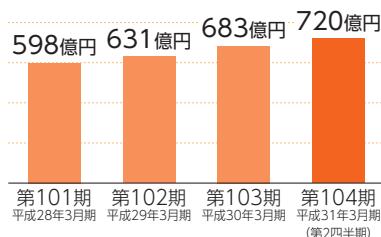


▶ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

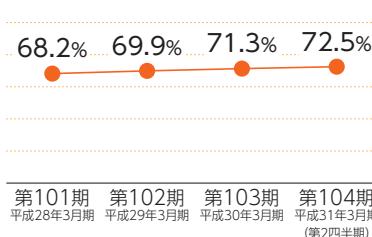
■ 第2四半期 ■ 通期



▶ 純資産



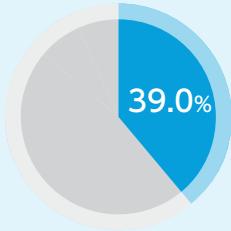
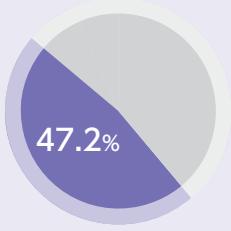
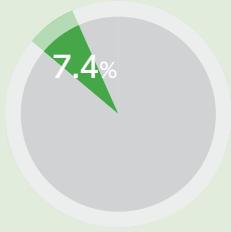
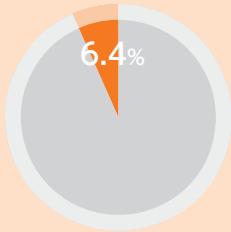
▶ 自己資本比率



平成31年3月期連結業績予想

売上高	685億円
営業利益	76億円
経常利益	76億円
親会社株主に帰属する当期純利益	60億円

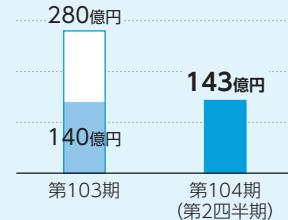
## 事業部門別状況

事業区分	売上高構成比	
<p><b>国内ベルト事業</b></p> <p>売上高 <b>143億40</b>百万円</p> <p>営業利益 <b>35億95</b>百万円</p>	 <p>39.0%</p>	 <p>自動車のエアコン、オルタネータなど、多数の軸を1本で回す“自動車用Vリブベルト”</p>
<p><b>海外ベルト事業</b></p> <p>売上高 <b>173億38</b>百万円</p> <p>営業利益 <b>23億51</b>百万円</p>	 <p>47.2%</p>	 <p>大型バイク等にも採用される、音が静かで変速がスムーズな“自動二輪車用変速ベルト”</p>
<p><b>建設資材事業</b></p> <p>売上高 <b>27億11</b>百万円</p> <p>営業利益 <b>6</b>百万円</p>	 <p>7.4%</p>	 <p>農業用貯水池で使用される「ミズシート」および「ミズシートS」</p>
<p><b>その他</b></p> <p>売上高 <b>23億73</b>百万円</p> <p>営業利益 <b>58</b>百万円</p>	 <p>6.4%</p>	 <p>血液分析装置の“ストラクチャル フォーム成形品”</p>

## 概況

自動車用ベルトは、国内の新車販売は前年同期並みの水準でしたが、当社製品採用車種の生産が減少したことなどから、組み込みライン用の売上高は微減となりました。また、補修用ベルトは車検交換需要の低下により売上高が減少し、全体では前年同期を下回りました。一般産業用ベルトは、射出成形機やロボット業界の需要が堅調であったことから売上高が増加しました。また、搬送ベルトは食品業界や物流業界向けの売上高が好調に推移するとともに、合成樹脂素材も企業の設備投資による需要増加に伴って、売上高が伸びました。一方、OA機器用ベルトはユーザの中国市場向け機種への減少影響などから、売上高は減少しました。その結果、当事業の売上高は143億40百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は35億95百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

## 売上高の推移

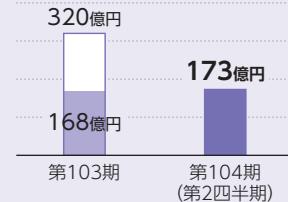


自動車用ベルトは、欧州・米国では二輪車用の拡販に加え、四輪車用の新規需要の獲得により売上高が増加し、アジアでは二輪車用の補修需要が好調に推移したことから、全体では売上高が増加しました。

一般産業用ベルトは、欧米ではユーザの在庫調整などから売上高が減少したものの、アジアでは一般補修用の拡販に加え、新規受注の獲得により売上高が増加し、全体では前年同期並みとなりました。

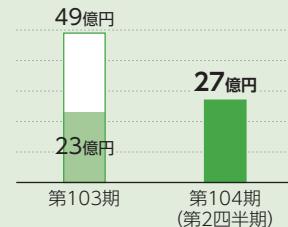
また、OA機器用ベルトの売上高は横ばいで推移しました。

その結果、当事業の売上高は173億38百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は23億51百万円（前年同期比12.3%増）となりました。



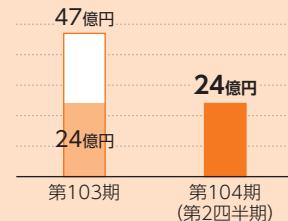
土木部門は廃棄物処分場などの大型工事物件の売上高が増加し、また、建築部門の売上高は前年同期並みで推移したことから、全体では売上高が大幅に増加しました。

その結果、当事業の売上高は27億11百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益は6百万円（前年同期比74.8%減）となりました。



その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、金属ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は23億73百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は58百万円（前年同期比23.4%減）となりました。



# 四半期連結財務諸表

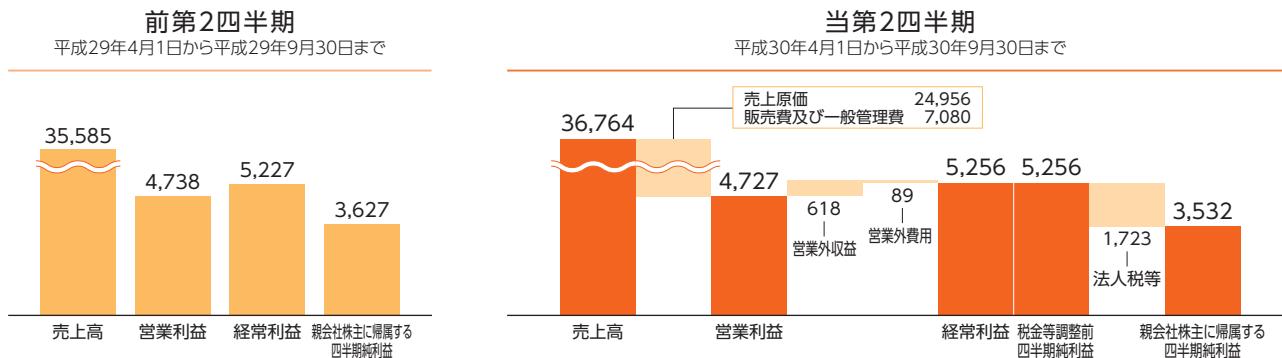
## 四半期連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



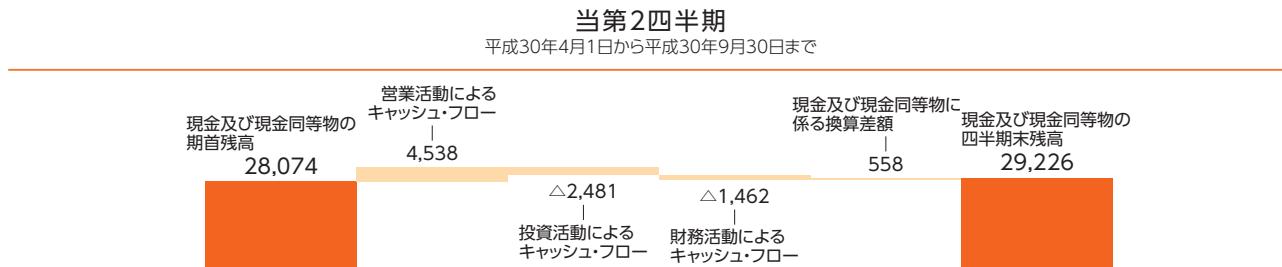
## 四半期連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



## 四半期連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	前期末 平成30年3月31日現在	当第2四半期末 平成30年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	60,715	63,400
現金及び預金	28,958	30,306
受取手形及び売掛金	15,001	15,950
その他	16,755	17,142
<b>固定資産</b>	35,086	35,920
有形固定資産	21,351	22,171
無形固定資産	67	72
投資その他の資産	13,666	13,676
<b>資産合計</b>	95,802	99,320
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	18,827	18,713
<b>固定負債</b>	8,626	8,572
<b>負債合計</b>	27,453	27,285
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	62,075	64,757
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	2,111	2,111
利益剰余金	55,129	57,815
自己株式	△ 3,315	△ 3,319
<b>その他の包括利益累計額</b>	6,273	7,277
<b>純資産合計</b>	68,348	72,035
<b>負債純資産合計</b>	95,802	99,320

## 四半期連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

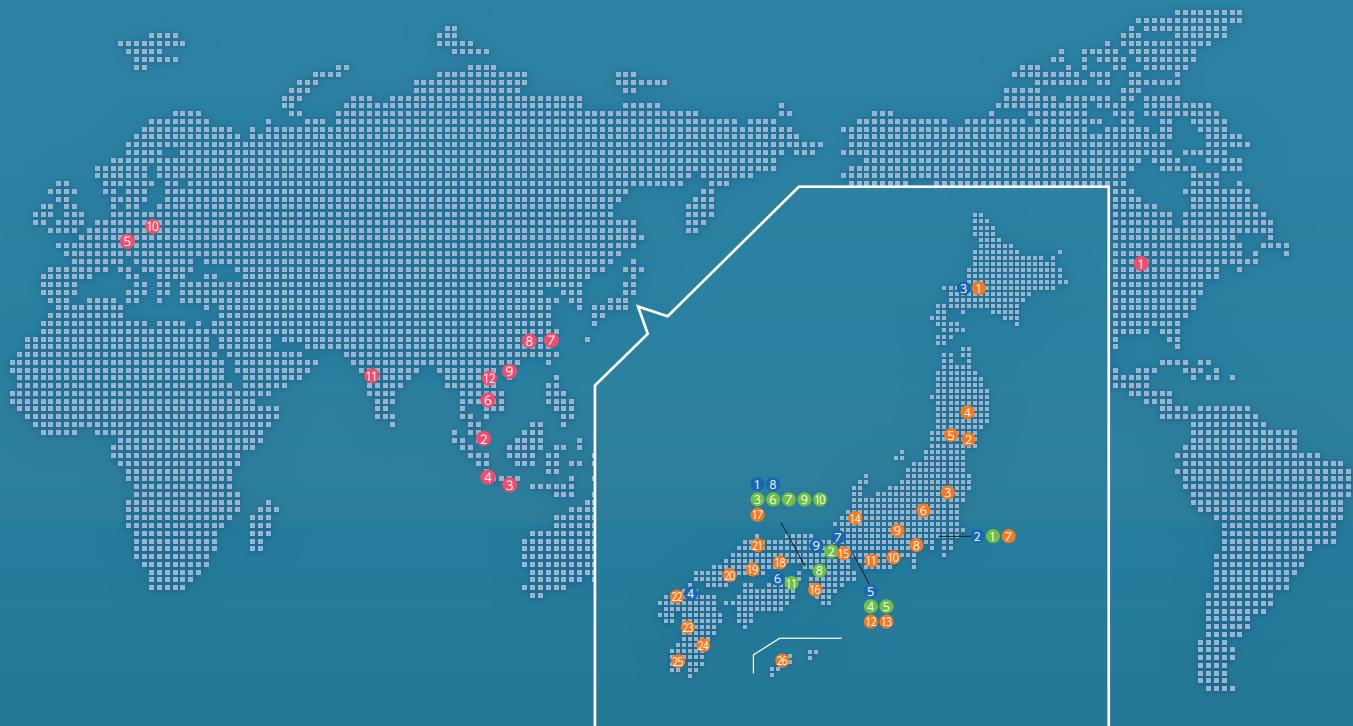
科目	前第2四半期(累計) 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで
<b>売上高</b>	35,585	36,764
売上原価	23,890	24,956
販売費及び一般管理費	6,956	7,080
<b>営業利益</b>	4,738	4,727
営業外収益	618	618
営業外費用	128	89
<b>経常利益</b>	5,227	5,256
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	5,227	5,256
法人税等	1,599	1,723
<b>四半期純利益</b>	3,627	3,532
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	3,627	3,532

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前第2四半期(累計) 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,328	4,538
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,759	△ 2,481
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,525	△ 1,462
現金及び現金同等物に係る換算差額	256	558
現金及び現金同等物の増加額	1,301	1,152
現金及び現金同等物の期首残高	25,116	28,074
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,417	29,226

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。



### 国内の生産・販売拠点

#### 三ツ星ベルト株式会社

- ① 神戸本社
- ② 東京本社
- ③ 札幌営業所
- ④ 福岡営業所
- ⑤ 名古屋工場
- ⑥ 四国工場
- ⑦ 滋賀工場
- ⑧ 神戸事業所
- ⑨ 綾部事業所

#### 三ツ星ベルトグループ会社

- ① 三ツ星ベルト販賣(株)
- ② 三ツ星コード(株)
- ③ 三ツ星ベルト工機(株)
- ④ 三ツ星ベルトコンペヤ(株)
- ⑤ 三ツ星ベルト樹脂(株)
- ⑥ 三ツ星ベルト技研(株)
- ⑦ 三ツ星物流工産(株)
- ⑧ ネオ・ルーフィング(株)
- ⑨ 神戸三ツ星サービス(株)
- ⑩ エムエムコート(株)
- ⑪ エム・ビ・エル・総合サポート(株)

#### 三ツ星ベルト販賣株式会社

- ① 札幌営業所
- ② 仙台営業所
- ③ 郡山営業所
- ④ 盛岡営業所
- ⑤ 山形営業所
- ⑥ 北関東営業所
- ⑦ 東京営業所
- ⑧ 神奈川営業所
- ⑨ 山梨営業所
- ⑩ 静岡営業所
- ⑪ 浜松営業所
- ⑫ 名古屋営業所
- ⑬ 小牧営業所
- ⑭ 金沢営業所
- ⑮ 粟東営業所
- ⑯ 和歌山営業所
- ⑰ 神戸営業所
- ⑱ 岡山営業所
- ⑲ 福山営業所
- ⑳ 広島営業所
- ㉑ 松江営業所
- ㉒ 福岡営業所
- ㉓ 熊本営業所
- ㉔ 宮崎営業所
- ㉕ 鹿児島営業所
- ㉖ 沖縄営業所

### 海外の生産・販売拠点

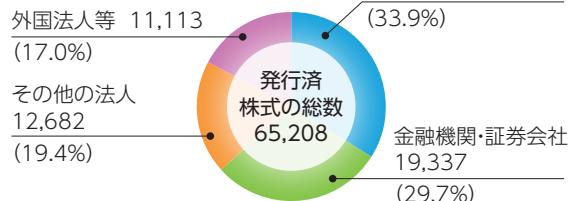
- ① MBL (USA) CORPORATION
- ② MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED
- ③ P.T. SEIWA INDONESIA
- ④ P.T. Mitsubishi Belting Indonesia
- ⑤ MBL Antriebstechnik Deutschland GmbH
- ⑥ STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED
- ⑦ 上海共星機帶國際貿易有限公司
- ⑧ 蘇州三之星機帶科技有限公司
- ⑨ MOI TECH HONG KONG LIMITED
- ⑩ MITSUBOSHI POLAND Sp. z o.o.
- ⑪ MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED
- ⑫ MITSUBOSHI BELTING VIETNAM CO., LTD.

## 株式の概況 (平成30年9月30日現在)

### 1. 株式

- ◇ 発行可能株式総数 325,213,000株
- ◇ 発行済株式の総数 65,208,397株
- ◇ 株主数 4,399名

### ◇ 所有者別状況(千株)



(注) 個人・その他には自己株式4,697千株が含まれています。

## 会社の概要 (平成30年9月30日現在)

- ◇ 商号 ミツ星ベルト株式会社  
Mitsuboshi Belting Ltd.
- ◇ 創業 大正8年10月10日
- ◇ 設立 昭和7年10月10日
- ◇ 資本金 81億5,025万1,031円
- ◇ 従業員数 736名
- ◇ 営業品目

- ベルト** 自動車用ベルト、一般産業用ベルト、OA機器用ベルト、搬送ベルト、その他ベルト
- 建設資材** 建築用防水シート、土木用遮水シート及び関連製品
- その他** エンジニアリング ストラクチュラル フォーム、その他

- ◇ 事業場
  - 神戸本社 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号  
☎(078)671-5071代表
  - 東京本社 東京都中央区日本橋2丁目3番4号  
☎(03)5202-2500代表
  - 札幌営業所 札幌市豊平区豊平2条3丁目1番17号  
☎(011)841-9135代表
  - 福岡営業所 福岡市博多区板付1丁目3番1号  
☎(092)441-4451代表
  - 名古屋工場 愛知県小牧市大字西之島1818番地  
☎(0568)72-4121代表
  - 四国工場 香川県さぬき市津田町津田2893番地  
☎(0879)42-3181代表
  - 滋賀工場 滋賀県高島市マキノ町寺久保100番地2  
☎(0740)27-0133代表
  - 神戸事業所 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号  
☎(078)671-5071代表
  - 綾部事業所 京都府綾部市城山町7番1  
☎(0773)43-3051代表

### 2. 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	6,582	10.88
トヨタ自動車株式会社	2,355	3.89
株式会社三菱UFJ銀行	2,340	3.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,954	3.23
星友持株会	1,842	3.05
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	1,552	2.56
三井物産株式会社	1,500	2.48
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,372	2.27
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	1,362	2.25
大同生命保険株式会社	1,354	2.24

(注) 1. 当社は自己株式4,697千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

## 役員 (平成30年9月30日現在)

代表取締役 会長	西河紀男	常務執行役員	熊野格夫
代表取締役社長 兼社長執行役員	垣内一	常務執行役員	羽村健
取締役兼 上席常務執行役員	山口良雄	常務執行役員	佐々木孝
取締役兼 上席常務執行役員	中嶋正仁	常務執行役員	増田健吉
取締役兼 常務執行役員	小田芳裕	常務執行役員	池田浩
取締役兼 常務執行役員	片山孝	常務執行役員	森野峰雄
取締役	宇佐美貴史	常務執行役員	又場敬司
取締役	宮尾龍蔵	執行役員	伊藤辰雄
監査役 (常勤)	黒野正治	執行役員	倉本信二
監査役	奥島吉雄	執行役員	下村徹
監査役	橋本正幸	執行役員	熊崎敏美
監査役	大久保裕晴	執行役員	石田和利

(注) 1. 取締役宇佐美貴史及び宮尾龍蔵の両氏は、社外取締役です。  
2. 監査役橋本正幸及び大久保裕晴の両氏は、社外監査役です。

会計監査人 EY新日本有限責任監査法人

## 株主メモ

- ◇ 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- ◇ 定時株主総会 6月
- ◇ 単元株式数 100株
- ◇ 剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
- ◇ 上場金融商品取引所 東京証券取引所
- ◇ 株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- ◇ 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話(通話料無料)0120-094-777
- ◇ 公 告 方 法 電子公告により行います。  
公告掲載ホームページは、[http://www.mitsuboshi.co.jp/japan/denshi\\_koukoku/index.html](http://www.mitsuboshi.co.jp/japan/denshi_koukoku/index.html)に掲載しております。  
なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 単元株式数の変更及び株式併合について

平成30年10月1日をもって単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、当社普通株式について株式併合(2株を1株に併合)を実施いたしました。



当社ホームページでも、最新のIR情報をご案内しております。

<http://www.mitsuboshi.co.jp/>